

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	社会課題解決を目的とする認定 NPO 法人フローレンスの役割と職員の業務
調査日	2020 年 11 月 30 日(月)15:20~17:20
調査先	認定 NPO 法人フローレンス 迎える育む部 二河等 氏 中村しのぶ 氏 山崎剛 氏 寺井楓 氏
担当教員身分・氏名	教授 木村有里
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	19 名(1 年生 8 名、2 年生 11 名)
調査趣旨・目的	非営利組織であるフローレンスの全体像、ソーシャルセクターとしての課題や取り組み、職員の業務内容についてご説明を聞き、質疑応答を行う。
調査結果	山崎剛氏よりフローレンスの全体像を伺ったのち、4 名のご対応者様よりそれぞれのキャリア形成、学生時代の興味関心、取り組まれてきた業務の内容、心掛けてきた点、現在や将来の想いなどについてプレゼンテーションをしていただき、その中で、事前学習の際に学生が持った疑問点にもお答えいただいた。後半は 2 グループに分かれてアットホームな雰囲気の中、学生からの質問に答えていただいた。プレゼンテーションでは、代表の駒崎氏のフローレンス設立までの経緯や困難、非営利組織と民間企業との違い、職員の方々のライフワークバランス、コロナ禍での取り組みなど、多くの点が学生の関心を刺激した。グループでの質疑応答では、「様々なキャリアを積まれた職員の方々がいらっしゃる中で、新卒で働く方に求めること」について質問があり、様々な視点から意見を臆せずと言えること、そして自身がいかに当事者意識を持って社会課題解決に取り組むことが出来るかが重要であるとお答えいただいた他、職員の方々のフレキシブルな働き方、仕事のうえでのモチベーション、アットホームな職場環境など、話題は多岐に渡った。また、学生の事後レポートから、「社会課題を事業によって解決するという熱い想いを持った職員の方々のお話をお聞きし、自分も社会課題について当事者意識を持つべきだと思った。」との報告も受けており、今回の訪問が修学のうえで大きな刺激になっていることが把握された。

※調査時の写真

ご対応者様との意見交換

